



佐川急便株式会社

2025 年 2 月 12 日

飛脚宅配便 1 個あたりのカーボンフットプリントを算定

環境負荷低減の取り組み加速と利用者への認知にも活用

SG ホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:本村 正秀、以下「佐川急便」)は、飛脚宅配便 1 個あたりのカーボンフットプリント(以下「CFP」※1)を算定しました。算定の結果、飛脚宅配便のライフサイクル全体を通じた CFP は、1 個あたり 1.25kg-CO₂e(個人向け荷物)となりました。

飛脚宅配便1個あたりのCFP算定値

1.25kg-CO₂e (個人向け荷物)

このたびの算定は、環境省による「令和 6 年度製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業(※2)」に採択されたことにより実現した取り組みとなり、輸送サービスを提供する物流企業が採択されたのは初めてとなります。算定には、環境省と経済産業省が公表しているカーボンフットプリントガイドライン、当社が受託した荷物の代表的な輸送経路、平均的な輸送距離と重量を用いています。

当社を含めSGホールディングスグループでは、CO₂排出量削減目標※3 を掲げ取り組みを進めています。CO₂排出量の削減を加速させるため、また社会問題のひとつでもある再配達の抑制といったお客さまに「エコな選択肢」を提供する第一歩として、環境省のモデル事業に参加しました。今回の算定結果を踏まえ、環境負荷の大きい工程に着目して CO₂排出量削減に取り組んでいくとともに、CFP 算定を伝票に表示するなど利用者への認知にも活用し、さらなる再配達抑制に向けた取り組みを検討、実施していきます。

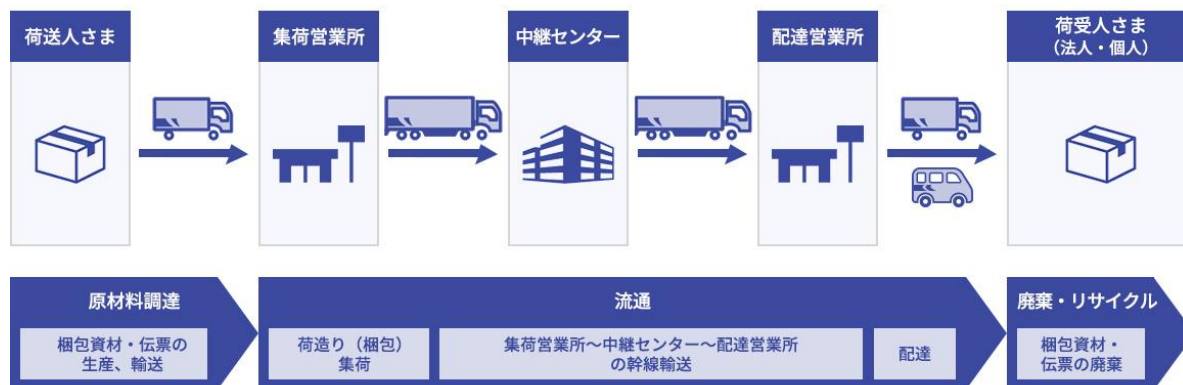
佐川急便はこれからも、環境負荷低減や CO₂排出量削減などの取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 カーボンフットプリント(CFP)…製品・サービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通じた温室効果ガス排出量を、CO₂排出量として換算した値のこと

※2 2024 年 7 月 11 日環境省発表「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」への参加企業・業界団体等の決定について https://www.env.go.jp/press/press_03362.html

※3 SG ホールディングスグループが掲げる CO₂排出量削減目標…2030 年 46%削減(2013 年比)、2050 年カーボンニュートラル

飛脚宅配便のCFP算定対象とするライフサイクルステージと構成要素



※佐川急便の最も頻度が多く代表的な輸送ルートを採用し、平均的な距離、重量を基にCFPを算出
 ※輸送過程にて発生しないライフサイクルステージ（生産・使用）は算定対象外



CFP の算定を伝票に表示し利用者の認知を図る

《佐川急便 Web サイト参考》

・脱炭素社会の実現に向けて: <https://www.sagawa-exp.co.jp/sustainability/environment/carbonfree.html>

SG ホールディングスグループは、純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。